

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月29日

上場会社名 シンプレクス・テクノロジー
 コード番号 4340 URL <http://www.simplex-tech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 澤田 正憲
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 03-3278-6750

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	5,401	—	960	—	914	—	527	—
20年3月期第2四半期	3,437	32.3	789	55.3	795	56.1	465	54.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	949.81	913.32
20年3月期第2四半期	793.15	767.89

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	7,015	3,402	48.1	6,140.53		
20年3月期	7,429	4,224	56.6	7,327.91		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,377百万円 20年3月期 4,208百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	210.00	210.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	260.00	260.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	29.2	2,510	20.6	2,500	20.5	1,475	19.5	2,568.14

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 詳細は、「定性的情報・財務諸表等」4その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 詳細は、「定性的情報・財務諸表等」4その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 589,955株 20年3月期 589,945株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 39,914株 20年3月期 15,599株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 555,493株 20年3月期第2四半期 586,278株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想には、様々なリスクや不確実性を内包しており、経済環境の変化等により、

実際の業績はこれらの見通しから異なる結果となる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社の当第2四半期連結累計期間は、下記となりました。

連結売上高	5,401,611 千円	(前年同四半期比 57.2%増)
連結営業利益	960,730 千円	(前年同四半期比 21.6%増)
連結経常利益	914,830 千円	(前年同四半期比 15.0%増)
連結純利益	527,614 千円	(前年同四半期比 13.5%増)

また、当期経営成績の先行指標となる受注残高は、6,421,431千円（前年同四半期末比24.8%増加）です。

- 当四半期は、FX取引システムを中心としたインターネット取引システムの売上が好調で、業績は予想を上回って推移いたしました。一方で、利益面においては、研究開発費を予算比224,115千円増額し、494,115千円（前年同四半期166,170千円）支出したことから、売上の伸びと比例して利益の伸びが小さくなっています。
- 売上高は、前年同四半期比57.2%増加と大きく増加しました。特にUMS（導入）売上は、1,139,408千円（前年同四半期143,015千円）と大幅に売上が増加いたしました。また、継続型の収入であるUMS（サービス）売上は、937,445千円（前年同四半期486,588千円）と順調に拡大しています。
- 当社は、売上の計上基準として検収基準を採用しているため、例年上半期よりも下半期に売上が偏る傾向があります。
- インターネット取引システムの売上が対前年同四半期比で3倍以上となり大きく増加しました。特に、個人投資家向けを中心に大きく市場が伸びているFX取引システムについては、ソニー銀行、マネーパートナーズに販売するなど好調に推移しました。また取引所FX取引システムである大証FX（仮称）の受注をきっかけに一段と引き合いは強まっており、当該分野におけるトップシェアのシステムとして強い競争力を保っていると認識しています。
- ディーリング分野においては、当期は大型案件はありませんでしたが、メガバンク向けを中心に安定的に売上を拡大することができました。メガバンクにおけるフロンティア領域へのIT投資は統合処理の進展に伴って好調に推移しており、今後も継続的な売上拡大を目指します。
- 売上総利益率は、43.5%（前年同四半期）から42.3%（当四半期）に若干低下しました。これは前年同四半期において好調だった保守の利益率が、当期は想定どおりの水準に落ち着いたことが主な要因です。
- 販売費及び一般管理費が1,323,343千円（前年同四半期 706,480千円）に増加しております。これは、UMS事業の積極展開に伴って、研究開発費が494,115千円（前年同四半期 166,170千円）に増加したことが主な要因です。また、採用活動の強化に伴い、採用関連費用及び新卒社員にかかる研修費用が増加しております。この結果、売上高に対する販売費及び一般管理費の比率が20.6%（前年同四半期）から24.5%（当四半期）に増加しています。
- 当四半期末における受注残高は6,421,431千円（前年同四半期末比24.8%増加）となり、当期の受注状況は順調に進捗しております。うち当期計上予定額は4,389,873千円であり、第2四半期終了時点での当期予算進捗率は93.3%となり、当期の売上予算達成に向けて順調に進捗しています。現時点で年間での予算達成に向けて、受注残高の積み上がりは極めて順調な状況ではありますが、最終的な顧客への納品を期末までに着実に遂行することで、確実な当期見込業績の達成を目指します。
- サブプライム問題に端を発する金融市場の混乱は、当期の受注活動においては顕在化しておりませんが、今後影響が生じる可能性があることを認識しています。来期以降の金融機関のIT投資動向を注視し、積極的な提案活動等による案件の掘り起こしを進めます。

なお、対前年増減比率は参考値となります。

① 売上の製品種類別の概況

	前年同四半期		当第2四半期		増減(千円)
	売上(千円)	利益率(%)	売上(千円)	利益率(%)	
システムインテグレーション	1,719,871	40.1%	2,047,545	40.8%	327,674
システム保守	628,066	63.9%	783,239	54.3%	155,172
UMS(導入) * 1	143,015	33.2%	1,139,408	44.1%	996,393
UMS(サービス)	486,588	58.9%	937,445	47.2%	450,857
その他 * 2	459,582	15.5%	493,973	16.0%	34,390
総合計	3,437,123	43.5%	5,401,611	42.3%	1,964,488

* 1 UMSとは、Universal Market Serviceの略で、顧客の収益等にリンクした形の契約となっているサービス全般を指します。

* 2 大半がハードウェアなどの物品販売によるものであります。

② 売上の分野別の概況

	前年同四半期売上(千円)	当第2四半期売上(千円)	増減(千円)
ディーリングシステム	1,723,113	1,828,287	105,174
CRM/SFAシステム	344,766	137,534	△207,232
インターネット取引システム	909,660	2,941,816	2,032,156
その他	459,582	493,973	34,390
計	3,437,123	5,401,611	1,964,488

2. 連結財政状態に関する定性的情報

i 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、7,015,753千円(対前年同四半期末比1,561,759千円増加)となりました。主に事務所増床に伴う敷金保証金が増加したことに加えて、UMS事業に利用する器具備品が増加したことによるものです。

また、負債合計が、3,612,767千円(対前年同四半期末比1,738,400千円増加)となりました。これは短期・長期借入金が合計1,225,000千円増加したことによるものです。この増加は前四半期に自己株式を1,090,000千円取得しており、これに伴う借入金を調達したものです。

また、純資産合計は3,402,985千円(対前年同四半期末比176,641千円減少)、自己資本比率は48.1%(前年同四半期末は65.5%)となりました。自己株式1,090,000千円を取得したことによって純資産が減少しております。また、その資金として借入金による調達を実施しているため、自己資本比率が低下しております。しかし、自己資本比率は依然として高く、安定的な財務バランスを保っていると分析しております。

その他の特記すべき事項はありません。

ii キャッシュフローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ、1,421,124千円減少し、当四半期末には1,360,816千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、555,652千円の資金使用(前年同四半期564,222千円の資金取得)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益を913,873千円計上したこと及び買掛金の増加額116,514千円が発生したことから資金を得た一方で、売掛金の増加額785,157千円及び未払金及び未払費用の減少額547,134千円が発生したことによる資金の減少を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、433,165千円の資金使用(前年同四半期93,281千円の資金使用)となりました。これは主に、敷金保証金の支払が187,327千円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、431,126千円の資金使用(前年同四半期922,338千円の資金使用)となりました。これは主に自己株式の取得による支出1,090,000千円、配当金の支払122,508千円が発生したことによる資金の減少を反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 業績予想

平成20年5月13日に発表した平成21年3月期の業績予想に変更はありません。

(2) 受注残高(連結ベース)

(%表示は、対前年同期末増減率)

	受注残高		うち当期計上予定分	
	百万円	%	百万円	%
平成21年3月期第2四半期	6,421	(24.8)	4,389	(19.0)
平成20年3月期第2四半期	5,143	(24.9)	3,689	—
(参考)平成20年3月期	5,608	(43.9)	—	—

- (注) 1. 保守等の継続契約については、1年以内に売上が計上されることが確実な受注のみを受注残高としております。
2. UMS (サービス) 売上ににつきましては、通常、固定売上+インセンティブ売上となっておりますが、固定売上部分のみを受注残高としております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- 法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,360,816	2,781,941
売掛金	1,864,017	1,078,860
仕掛品	657,338	507,170
繰延税金資産	56,000	56,000
その他	77,903	71,361
流動資産合計	4,016,076	4,495,333
固定資産		
有形固定資産	582,830	519,741
無形固定資産	159,608	160,358
投資その他の資産		
投資有価証券	1,409,520	1,687,676
長期前払費用	11,813	10,625
敷金及び保証金	629,973	442,646
保険積立金	2,039	1,747
繰延税金資産	92,246	—
その他	111,644	111,644
投資その他の資産合計	2,257,237	2,254,340
固定資産合計	2,999,677	2,934,439
資産合計	7,015,753	7,429,773
負債の部		
流動負債		
買掛金	835,227	718,713
短期借入金	700,000	200,000
未払金	231,800	727,052
未払費用	16,148	69,927
未払法人税等	430,650	524,340
前受金	84,067	223,629
賞与引当金	256,300	—
役員賞与引当金	52,000	—
その他	56,572	51,652
流動負債合計	2,662,767	2,515,314
固定負債		
長期借入金	950,000	675,000
繰延税金負債	—	14,788
固定負債合計	950,000	689,788
負債合計	3,612,767	3,205,103

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,480	368,265
資本剰余金	294,636	316,685
利益剰余金	4,459,930	4,052,928
自己株式	△1,644,130	△582,346
株主資本合計	3,478,916	4,155,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△100,654	53,371
為替換算調整勘定	△717	△151
評価・換算差額等合計	△101,371	53,220
新株予約権	25,394	15,871
少数株主持分	45	45
純資産合計	3,402,985	4,224,670
負債純資産合計	7,015,753	7,429,773

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	5,401,611
売上原価	3,117,537
売上総利益	2,284,074
販売費及び一般管理費	1,323,343
営業利益	960,730
営業外収益	
受取利息及び配当金	11,396
雑収入	430
営業外収益合計	11,827
営業外費用	
支払利息	10,157
為替差損	252
持分法による投資損失	47,096
雑損失	222
営業外費用合計	57,728
経常利益	914,830
特別損失	
固定資産除売却損	956
特別損失合計	956
税金等調整前四半期純利益	913,873
法人税、住民税及び事業税	386,259
法人税等合計	386,259
四半期純利益	527,614

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	913,873
減価償却費	118,226
受取利息及び受取配当金	△11,396
支払利息	10,157
為替差損益 (△は益)	613
持分法による投資損益 (△は益)	47,096
有形固定資産除売却損益 (△は益)	956
無形固定資産償却費	32,273
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	52,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	256,300
売上債権の増減額 (△は増加)	△785,157
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△150,168
仕入債務の増減額 (△は減少)	116,514
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△547,134
前受金の増減額 (△は減少)	△139,561
その他	8,462
小計	△76,943
利息及び配当金の受取額	11,396
利息の支払額	△10,157
法人税等の支払額	△479,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△555,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△182,272
無形固定資産の取得による支出	△31,524
投資有価証券の取得による支出	△30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△187,327
長期前払費用の取得による支出	△1,750
その他	△291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△433,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	825,000
短期借入金の返済による支出	△325,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△225,000
株式の発行による収入	6,382
自己株式の取得による支出	△1,090,000
配当金の支払額	△122,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,421,124
現金及び現金同等物の期首残高	2,781,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,360,816

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間において、当社グループはすべて同一セグメントである情報サービス業に属するシステム受託開発、パッケージ商品、これらに伴う保守作業を行っております。

よって、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間において、本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間において、海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期に自己株式1,090,000千円を取得したことにより、純資産が減少しております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
システムインテグレーション (千円)	1,447,527
システム保守 (千円)	357,741
UMS (導入) (千円)	534,010
UMS (サービス) (千円)	505,050
その他 (千円)	423,375
合計 (千円)	3,267,705

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
システムインテグレーション	2,056,153	1,721,966
システム保守	916,053	1,524,181
UMS (導入)	793,824	749,236
UMS (サービス)	1,501,277	1,797,143
その他	947,156	628,904
合計	6,214,464	6,421,431

- (注) 1. 保守等の継続契約については1年以内に売上が計上されることが確実な受注のみを受注残高としております。
2. 金額は販売価格によっております。
3. UMS (サービス)につきましては、通常、固定売上+インセンティブ売上となっておりますが、固定売上部分のみを受注残高としております。
4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
システムインテグレーション (千円)	2,047,545
システム保守 (千円)	783,239
UMS (導入) (千円)	1,139,408
UMS (サービス) (千円)	937,445
その他 (千円)	493,973
合計 (千円)	5,401,611

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	
I 売上高		3,437,123
II 売上原価		1,940,726
売上総利益		1,496,396
III 販売費及び一般管理費		706,480
営業利益		789,915
IV 営業外収益		
1. 受取利息	2,131	
2. 受取配当金	16,560	
3. 為替差益	374	
4. 雑収入	312	
		19,379
V 営業外費用		
1. 支払利息	4,038	
2. 持分法投資損失	7,768	
3. 雑損失	2,070	
經常利益		13,877
		795,417
VI 特別損失		27,045
税金等調整前中間純利益		768,371
法人税、住民税及び事業税	385,048	
法人税等調整額	△81,500	303,548
少数株主損失		△185
中間純利益		465,008

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	768,371
減価償却費	58,426
販売権償却費	13,500
株式報酬費用	6,348
投資有価証券売却益	△300
投資有価証券評価損	27,045
受取利息及び受取配当金	△18,691
支払利息	4,038
為替差益	△365
持分法による投資損益	7,768
未払金・未払費用の増減額	△18,984
未払消費税等の増減額	△57,272
前受金の増減額	25,675
売上債権の増減額	627,848
たな卸資産の増減額	△253,090
仕入債務の増減額	△5,340
役員賞与引当金の増減額	△41,000
賞与引当金の増減額	△121,819
その他	△21,546
小計	1,000,611
利息及び配当金の受取額	18,691
利息の支払額	△4,038
法人税等の支払額	△451,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	564,222
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	51,300
有形固定資産の取得による支出	△82,471
無形固定資産の取得による支出	△61,992
敷金保証金の差入(返還)額	△250
その他	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,281
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	△200,000
長期借入金の返済による支出	△50,000
株式の発行による収入	2,660
自己株式の取得による支出	△582,346
配当金の支払による支出	△92,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	△922,338
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	85
V 現金及び現金同等物の増減額	△451,312
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,332,488
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,881,175